

株式会社 **クリエイイトSDホールディングス**



2022年5月期第2四半期 決算説明資料

2022年1月13日

本資料に掲載しております業績予想は現時点における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって予想と実際の業績が異なる可能性がございます。あらかじめ御承知おきくださいますようお願い申し上げます。
お問い合わせ先 経営企画部:阿部・木村(TEL 045-914-8241)

2022年5月期 第2四半期 実績

1. 損益計算書
2. 貸借対照表
3. 出退店状況(クリエイトエス・ディー単体)
4. 業績ハイライト(クリエイトエス・ディー単体)

2022年5月期 下期の取り組み

1. 新規出店・既存店改装
2. ライフスタイル変化への対応
3. 超高齢社会における調剤需要への対応
4. 販管費抑制に向けた取り組み
5. ITと実店舗を活用した顧客・患者体験の改善
6. サステナブル経営の推進
7. 2022年5月期 通期計画(連結)

2022年5月期 第2四半期 実績

1. 2022年5月期 第2四半期累計のPL(連結)

	2021.5期 第2四半期累計 実績		2022.5期 第2四半期累計 実績				【参考】旧基準ベース概算 2022.5期 第2四半期累計 実績		
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	168,671	100.0	173,823	100.0	103.1	99.8	175,675	100.0	104.2
売上総利益	46,407	27.5	46,968	27.0	101.2	100.6	48,588	27.7	104.7
販売管理費	36,724	21.8	38,125	21.9	103.8	100.6	39,775	22.6	108.3
営業利益	9,683	5.7	8,843	5.1	91.3	100.6	8,813	5.0	91.0
経常利益	9,907	5.9	9,088	5.2	91.7	101.0	9,058	5.2	91.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,731	4.0	6,167	3.5	91.6	101.3	6,137	3.5	91.2

2. 2022年5月期 第2四半期累計のBS(連結)

(単位:百万円)

2021年5月末		2021年11月末	
総資産 163,824		総資産 168,900	
		(+5,075)	
流動資産 91,084	負債 67,186	流動資産 92,924 (+1,839)	負債 67,495 (+309)
固定資産 72,740	純資産 96,638	固定資産 75,975 (+3,235)	純資産 101,404 (+4,765)

■ 流動資産	+1,839
売掛金の増加	+512
商品の増加	+1,552
■ 固定資産	+3,235
有形固定資産	+1,500
無形固定資産	△43
■ 負債	+309
未払い費用	+430
退職金給付に係る負債	+178
買掛金	△233
■ 純資産	+4,765
利益剰余金	+4,761

3. 出退店状況(クリエイトエス・ディー単体)

■ 出退店・改装

退店:ドラッグストア 1店舗(契約満了) 専門調剤薬局 1店舗(契約満了)

2022年5月期 上期出店数		神奈川	東京	千葉	愛知	埼玉	静岡	合計
出店	ドラッグストア	9	3	0	0	2	0	14
	調剤薬局	14	5	2	1	0	1	23

・改装 19店舗(生鮮強化:4店舗、調剤拡張:1店舗 等)

■ 2021年11月末店舗数

2021.11末 店舗数	神奈川	東京	静岡	千葉	愛知	その他	合計
ドラッグストア	382	108	88	47	18	30	672
併設薬局	156	40	19	17	9	6	247
併設率	40.8%	37.0%	21.6%	36.2%	50.0%	20.0%	36.8%
専門薬局	27	7	0	2	0	1	37
スーパーマーケット	5	0	0	0	0	0	5
総店舗数	414	115	88	49	18	31	714

3. 出退店状況(クリエイトエス・ディー単体)

生鮮食品強化



●伊勢原桜台店

(神奈川県伊勢原市)

- ・加工食品だけでなく生鮮食品も含めた食品取扱いの強化
- ⇒SM跡地へ生鮮強化型DgSとして出店し、ワンストップ&ショートタイムショッピングを実現



地域医療連携



●羽沢横浜国大駅前店

(神奈川県横浜市)

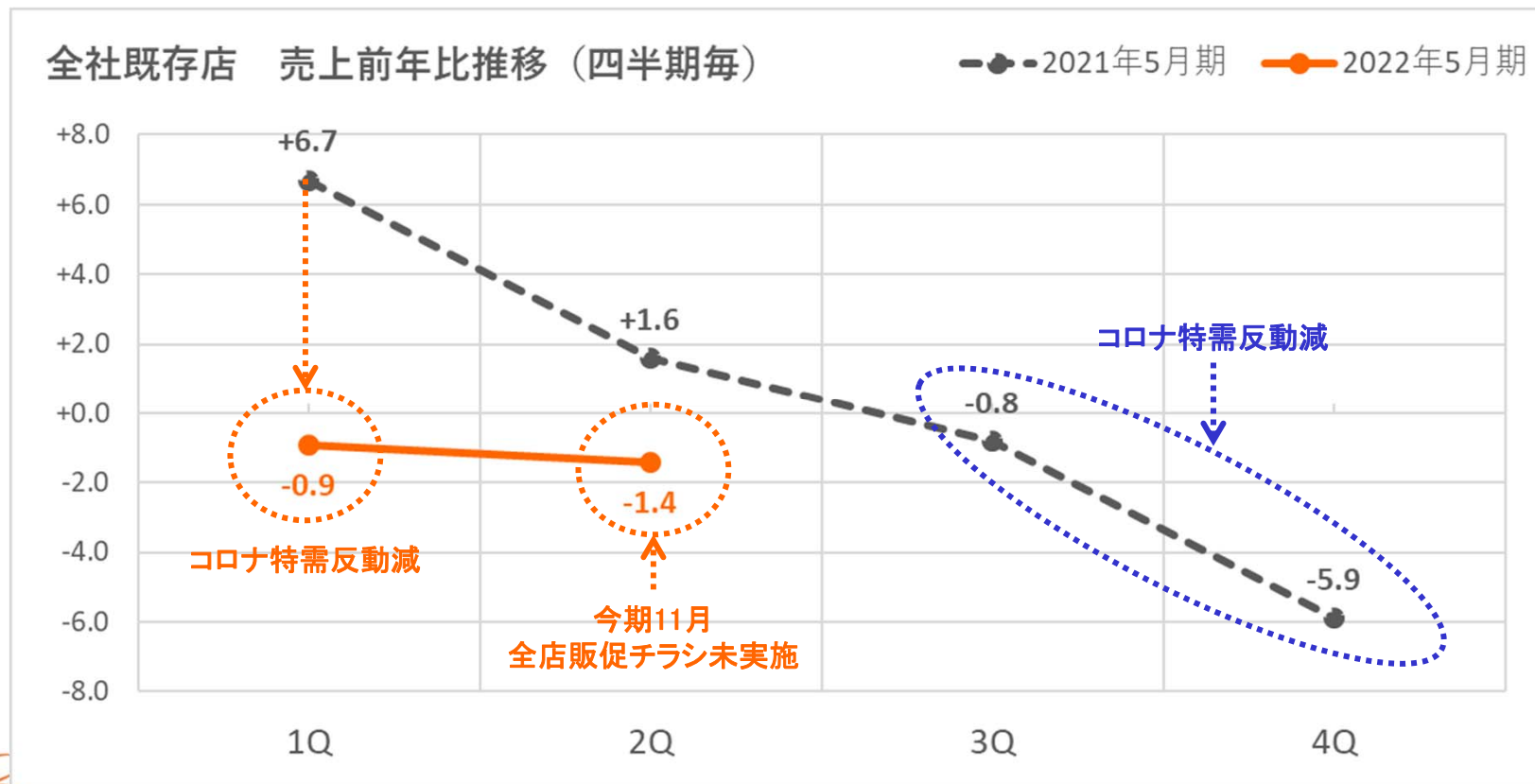
- ・店舗2階に医療機関4科を誘致した調剤併設店舗
- ⇒新駅開発の一環として、医療機関と複合した店舗を展開

4. 業績ハイライト(クリエイイトエス・ディー単体)

前年の感染対策商材・巣ごもり商材の特需により
反動減はあるものの、コロナ禍以前と比較すると堅調に推移

■ 既存店 売上高前年比(上期累計): **98.8%**

└ OTC:97.8%、 調剤:109.1%



4. 業績ハイライト(クリエイトエス・ディー単体)

■ 売上高 - セグメント別売上高 -

- ・調剤構成比は9.2%から10.1%へ伸長(前期差+0.9pt)
- ・感染対策商材の前年特需による反動減、総合感冒薬の販売不振
- ・食料品については巣ごもり需要による影響が漸減しつつも堅調に推移

	2021.5期 第2四半期累計 実績		2022.5期 第2四半期累計 実績			【参考】旧基準ベース概算 2022.5期 第2四半期累計 実績		
	売上高(百万円)	構成比 (%)	売上高(百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	売上高(百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
医薬品	44,446	26.9	45,729	26.8	102.9	46,028	26.7	103.6
O T C	29,228	17.7	28,258	16.6	96.7	28,556	16.6	97.7
調剤	15,218	9.2	17,471	10.2	114.8	17,471	10.1	114.8
化粧品	20,437	12.4	20,907	12.3	102.3	21,128	12.2	103.4
食料品	64,707	39.1	67,795	39.7	104.8	68,612	39.8	106.0
日用雑貨品	27,511	16.6	27,797	16.3	101.0	28,090	16.3	102.1
その他	8,333	5.0	8,324	4.9	99.9	8,545	5.0	102.5
合計	165,437	100.0	170,553	100.0	103.1	172,405	100.0	104.2

4. 業績ハイライト(クリエイトエス・ディー単体)

■ 売上総利益率・販管費率(旧基準ベース)

売上総利益率 27.87% 前期差 **+0.17pt** 計画差 +0.26pt

【押し上げ要因】調剤売上構成比の伸長

全店販促チラシの自粛

販管費率 23.12% 前期差 **+0.90pt** 計画差 +0.35pt

・人件費率 12.45% 前期差 +0.63pt 計画差 +0.24pt

【増加要因】調剤出店強化に向けた薬剤師採用増

前期離職率の低下

・その他の経費率 10.66% 前期差 +0.26pt 計画差 +0.10pt

【増加要因】キャッシュレス決済の伸長に伴う支払手数料の増加

燃料高騰に伴う水道光熱費の増加

設備投資に伴う減価償却費の増加

4. 業績ハイライト(クリエイトエス・ディー単体)

前年の受診控え・処方長期化の反動により、処方箋枚数増加の一方
処方箋単価は低下。調剤既存店売上高は堅調に推移。

■ 調剤部門 - 売上高・処方箋枚数・処方箋単価 -

	2021.5期 第2四半期累計 実績	2022.5期 第2四半期累計 実績	前期比 前期差
全店売上 (百万円)	15,218	17,471	114.8%
処方箋枚数 (千枚)	1,572	1,847	117.5%
処方箋単価 (円)	9,523	9,302	97.7%
既存店売上 (百万円)	15,151	16,527	109.1%
処方箋枚数 (千枚)	1,564	1,734	110.8%
処方箋単価 (円)	9,533	9,391	98.5%
在宅売上 (百万円)	698	670	96.0%
在宅店舗数 (店)	152	154	+2
処方箋枚数 (千枚)	46	45	98.8%
全店荒利率 (%)	43.1	43.6	+0.5pt

2022年5月期 下期の取り組み

1. 新規出店・既存店改装

調剤出店数は計画を上回る見込み(過去最高の出店数)

■ 下期出退店

※2021年11月末時点見込み

- ・ドラッグストア 20店舗
(通期予測 34店舗)
- ・調剤薬局 30店舗
(通期予測 53店舗)

下期退店見込み:ドラッグストア **2店舗**(契約満了、S&B)
通期退店見込み:ドラッグストア **3店舗**(契約満了、S&B)、専門調剤薬局 **1店舗**(契約満了)

	2021.11月末 店舗数	2022.5月期 下期見込み	2022.5月末 店舗数予測	(参考)2021.5月期 店舗数
ドラッグストア	672	20(退店2)	690	659
併設薬局	247	29	276	226
併設率	36.8%	-	40.0%	34.3%
専門薬局	37	1	38	36
スーパーマーケット	5	0	5	5
総店舗	714	-	733	700

■ 下期改装店

● 生鮮強化と調剤併設化

- ・下期改装予定: **14店舗** (通期予測 33店舗)

- 増築改装 : 2店舗
→ 食品取扱強化と調剤併設化
- 調剤拡張 : 4店舗
- 生鮮強化 : 3店舗 等



2. ライフスタイル変化への対応

ワンストップ & ショートタイムショッピングの実現

- 生鮮、冷凍食品、即食食品の強化
 - ・更なる品揃えの拡充と見直し
→ワンストップで揃う利便性を確保
 - ・PBの新規開発、リニューアル
 - ・新店におけるフーズ売場拡大の継続
- 新たな商品受け取りサービス
 - ・クックパッドマートロッカーの導入
→狭小店舗における欠落アイテムの補完
今期末見込み: 18店舗
 - ・宅配受取りロッカーの設置推進
→今期末見込み: 56店舗



3. 超高齢社会における調剤需要への対応

調剤事業の更なる拡大

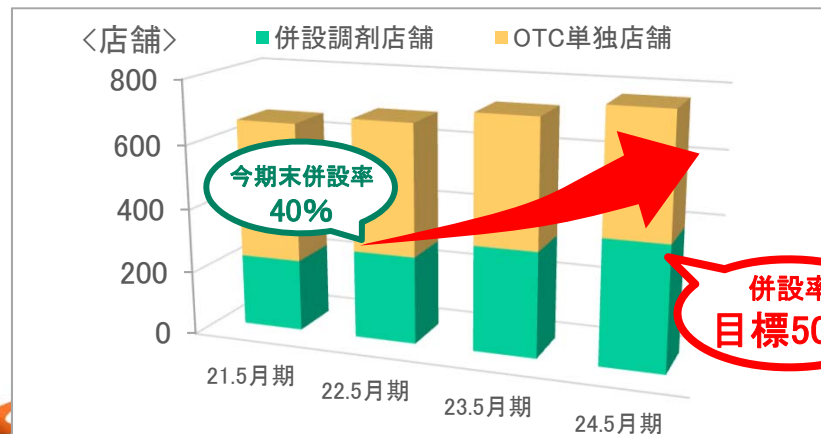
●調剤併設率50%に向けて

└今期調剤出店予定: **53**店舗
(今期末調剤併設率: **40%超**)

- ・薬剤師の教育強化
 - ・メディカルアシスタントの採用強化
 - ・患者様満足度の向上
- 調剤薬局における接客力強化
→応需不可ゼロ、待ち時間短縮

●「地域連携薬局」認定の推進

- ・服薬フォローの推進
- オンライン服薬指導の体制整備
- ・無菌調剤拠点の整備と
共同利用のオペレーション構築
- 今期末見込み: 無菌調剤設備 **6**店舗



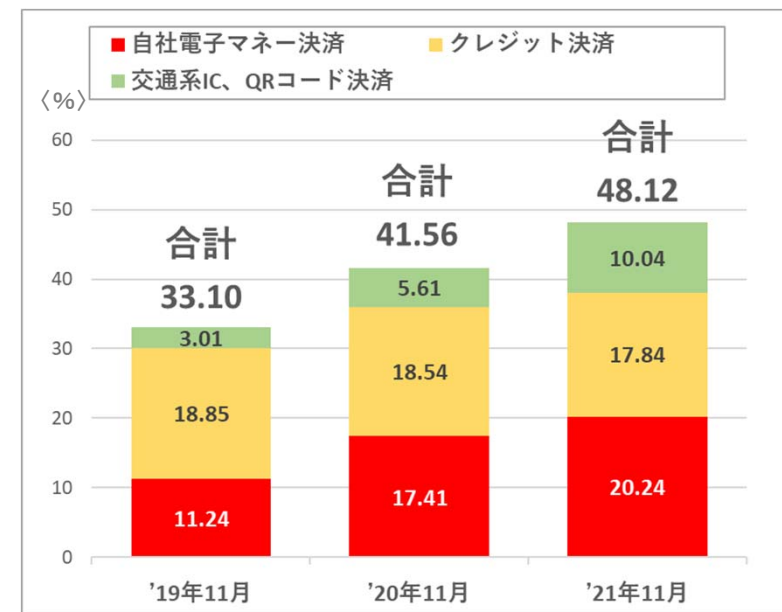
4. 販管費抑制に向けた取組み

生産性の向上

- ・セミセルフレジ導入拡大
→今期末見込み:61店舗
- ・タブレット端末の活用
→オンライン研修の実施、動画マニュアルの整備(レジオペレーション、調剤手順等)
- ・メディカルアシスタントの活躍推進
→ピッキング研修などの拡充、在宅訪問への同行と業務補助
- ・**人時数コントロール**の実施
→店舗毎に基準人時・基準人員を算出し、適正な人員数での運営を目指す

キャッシュレスの推進

- ・支払手数料の抑制
→自社電子マネー利用促進に向けた販促の強化



※クレジット決済が減少した一方で、QRコード決済などのその他決済が増加。自社電子マネー決済については堅調に推移。

5. ITと実店舗を活用した顧客・患者体験の改善

お客様・患者様に新たな体験を提供する

●デジタルマーケティングの推進

- ・公式スマホアプリの刷新
(2022年3月予定)
→個々人に合わせたクーポン配信、
健康データ機能などの新たな機能
の追加および拡張

●リテールメディア事業の推進

- ・店頭設置デジタルサイネージでの
メーカー広告配信
- ・店内設置ビーコン活用による
ターゲットを絞ったSNS広告配信

●新たなサービスの検証

- ・モバイル事前注文サービスの検証
「**REMO CART(リモカート)**」
→スマホから事前に注文することで
当日に店頭で商品の受取りが可能

※2022年3月より検証導入



6. サステナブル経営の推進

「持続的な企業価値の向上」と
「持続可能な社会の実現」の両立を目指して



● ESG情報開示の充実

- ・ウェブサイトにおける情報開示 << <https://www.createsdhd.co.jp/> >>

E: 環境保全の取り組み



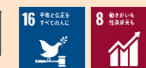
→ISO14001の認証取得継続、神奈川県発行のグリーンボンドへの投資 等

S: 社会貢献活動



→かかりつけ薬局推進、地域との災害時協定締結、各種寄付活動 等

G: コーポレートガバナンス・リスク管理体制



→コンプライアンス体制、内部通報制度、情報セキュリティ方針 等

● サステナビリティ推進委員会の設置

- ・サステナビリティ基本方針の策定と重要課題(マテリアリティ)の特定
- ・社会課題解決に資する各種取り組みの計画策定と進捗管理

7. 2022年5月期 通期計画(連結)

※通期計画は修正しておりません。

通期	2021.5期 累計実績		2022.5期 計画			【2022.5期参考】 旧基準ベース概算	
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	<百万円>	前期比 (%)
売上高	338,476	100.0	352,600	100.0	104.2	355,490	105.0
売上総利益	93,365	27.6	95,880	27.2	102.7	98,760	105.8
販売管理費	74,735	22.1	76,500	21.7	102.4	79,380	106.2
営業利益	18,629	5.5	19,380	5.5	104.0	19,380	104.0
経常利益	19,061	5.6	19,800	5.6	103.9	19,800	103.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,376	3.7	12,770	3.6	103.2	12,770	103.2